

降誕節第1主日礼拝
2021年12月26日 10:30
日本基督教団 代々木上原教会 礼拝堂

司式:廣石 望牧師

奏楽:ヒムプレーヤー

前奏

招詞 詩編 98:1,3 による

新しい歌を主に向かって歌え。主は驚くべき御業を成し遂げられた。地の果てまですべての人はわたしたちの神の救いの御業を見た。

讃美歌 245(世の成らぬさきに)

聖書朗読

旧約聖書 イザヤ書 7:10~14

10 主はさらにアハズに語られた。11 「あなたの神である主にしるしを求めよ。陰府の深みへと、あるいは天へと高く求めよ。」12 しかしアハズは、「私は求めません。主を試すようなことはしません」と言った。13 イザヤは言った。「聞け、ダビデの家よ。あなたがたは人間を煩わすだけでは足りず、私の神をも煩わすのか。14 それゆえ、主ご自身があなたがたにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって男の子を産み、その名をインマヌエルと呼ぶ。

新約聖書 マタイによる福音書 1:18~25

18 イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。19 夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。20 このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。21 マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」22 このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。23 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。24 ヨセフは眠りから覚めると、主の天使が命じたとおりに、妻を迎え入れ、25 男の子が生まれるまでマリアと関係することはなかった。そして、その子をイエスと名付けた。

祈 禱

説教「インマヌエル」

廣石 望牧師

祈 禱

讚美歌 271(喜びはむねに)

献 金

(礼拝当番による祈りに続いて「主の祈り」をささげましょう。)

天にまします我らの父よ。願わくは御名(みな)をあがめさせたまえ。御国(みくに)を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も 与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦(ゆる)すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試(こころ)みにあわせず、悪より救いいだしたまえ。国と力と栄えとは、限りなく汝(なんじ)のものなればなり。アーメン。

祝 禱<派遣と祝福>(ご無理のない方はご起立ください)

廣石 望牧師

後 奏

報 告